

# プラスチック・フィルム材料のバリア性の基礎と製品設計への応用

**日時** 2015年12月21日(月) 12:30~16:30

**主催** (株)R&D支援センター

**会場** 江東区産業会館 第2会議室 東京都江東区東陽4-5-18

定員: 30名

**受講料** 49,980円 ※資料付

※満席になり次第、

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

**講師** 平田 雄一 氏 / 信州大学 繊維学部 准教授 博士(工学)

## 趣旨

有機材料であるプラスチックフィルムと無機材料を複合することで従来の食品包装分野よりも数桁バリア性能が向上したハイバリアフィルムが検討されている。更なるバリア性能の向上は従来の気体および水蒸気透過率評価法では対応できず、新たな評価技術も開発されている。

このような状況でプラスチックが微量ながらも気体や水蒸気を透過させてしまうのはなぜか?そして、微量な透過率を確実に評価するにはどのような点に注意するかを理解することはハイバリアフィルムを開発あるいは利用していく上で重要です。これらの基礎的な事項について詳細に解説いたします。

## プログラム

### 1. 包装材料としての高分子材料

### 2. 高分子膜の透過現象

2-1 多孔膜と非多孔膜

2-2 Fickの法則

2-3 溶解拡散

### 3. バリア性

3-1 ガス遮断性

3-2 防湿性

### 4. 高分子膜の気体および水蒸気透過率評価法

4-1 測定法の分類

4-2 気体透過率および水蒸気透過率測定法に関する従来規格

4-3 最近規格化された水蒸気透過率測定法

4-4 その他の新しい評価法

### 5. 様々なバリアフィルム

5-1 均質膜

5-2 ラミネート膜

5-3 複合膜

## 【質疑応答・名刺交換】

## 『プラスチック・フィルム材料のバリア性の基礎と製品設計への応用』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

### ■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

### ■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

### ■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。